

..... 編集後記

◆今年はや暖冬のためでしょうか桜の花が早く咲き、早く散ってしまった様な気がします。今は色々な花が咲き、つくばも美しい彩りを見せ始めました。花の美しさに比べて、最近では理解し難い事件が多いようですが、日本人の心が荒んでいるからでしょうか。受験にあまり関係のないものは不要という世の中の流れが作り出した現象の様にも思えます。現在は技術万能の社会ですが、心のゆとりを教えることも重要でしょう。そのためには、野外で地球の歴史を教え、その中で人間の存在とはなにかを考えさせるのも一つの方法でしょう。

◆さて、今月号の特集は先月号に続いて、生活環境と地質をお送りします。今回は水と温泉に関する話がまとめられています。わが国は瑞穂の国で稲作に必要な水や美味しい水の豊富な国はずでした。韓国に行ったとき、ウイスキーの水割を飲んだら大変心配されましたし、チリではオンザロックは水の溶けない内に飲めと教えられました。水が悪いからとのことでした。日本は美味しい水がどこにでもある良い国だと思っておりましたが、いつの頃から、水が商品として店頭で販売される時代になりました。水は生命を支え

る大事な資源であり、研究が必要なことを、この特集から感じて頂ければ幸いです。

◆地質屋は道端の地質露頭から何を読み取ることができるかと言う設問があるとすれば、磐梯山の噴火と崩壊の歴史に関する記事はそれに対して一つの回答を与えています。静止して物言わぬ地層から数万年前に起こった火山噴火と崩壊の実態を今の世に蘇らせるのは地質屋の最大のロマンであろうと思います。皆さんも色々な地層をながめて地球の謎解きに挑戦してみてください。

◆外国の資源と地質に関する情報記事が3編掲載されています。最初が中国雲南省の金鉱床で、次が内モンゴルの石炭関連、もう一つはタイ国のろう石鉱床についてです。わが国では稼行している鉱山はほとんどなくなりましたが、我々の生活を維持していくためには外国の資源に依存せざるをえませんので、これらの情報は大変貴重なものでしょう。

◆地質標本館は開設以来の来館者は50万人を超えたとのこと。関係者が展示に色々和新工夫をしてご来館をお待ちしておりますので、お出かけください。

(有田正史)

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

委員：佐藤興平・今井 登・村上文敏・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係（谷田部信郎・吉田朋弘）

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュース	第513号	1997年	5月号
	定価¥785(本体価格¥748) 千実費		
1997年5月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8		
	Tel. (03)3265-0951(代表) 〒102		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 ケイ・トゥー・ワン		

©1997 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター◎本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ